



あのときの常呂・写真館

VOL 77

(1978年)

昭和53年11月10日

常青協合唱サークル「クレッシェンド」 全国大会出場・努力賞獲得

▶ 常青協（常呂町青年団体協議会）は、昭和25年11月に町内各地区の青年団体が集まり地域青年団として誕生しました。30年代には、各地区の演芸会や敬老会を地区の青年団が中心となって行ったり、常青協主催の芸能発表大会・町内青年体育祭などを行い、文化・スポーツ両分野で大きな力を発揮しました。この当時、文化祭には青年の弁論大会、単位団による演劇が恒例のプログラムになっていて、青年団の存在が大きかったことを示しています。その後、40年代に入ってから、過疎化による地区青年団の団員減少が進み、地域青年団として組織維持が難しくなり、46年12月に常青協規約を改正してサークル活動への移行を図り、翌47年4月から地域青年団からサークル制の青年団に生まれ変わります。

*このころの状況を、「常青協25周年記念誌 若人」の歴代会長の対談で、当時の会長が「…今まで地域単位青年団だったのをサークル化にし、趣味のサークルにして活動の活発化を図ったのです。ソフトボール、バレーボール、歌声、柔道、生活などのサークルが作られました。一時団員数が減少したり、地域青年団が崩壊してきたりでしたが、サークル化により団員も増えました」と語っています。

▶こうした常青協の活動が全国大会出場につながり、昭和53年10月号と12月号の「広報ところ」は、全国大会出場と結果を次のように伝えています。

*…9月14-15日の両日、滝川市で開かれた第6回北海道青年祭兼第27回全国青年大会予選会に常青協から合唱の部、舞踊の部にそれぞれ参加し、合唱は最優秀賞、舞踊は努力賞を獲得、合唱は全国大会への出場が決まりました。合唱の部に参加したのは、歌声サークル「クレッシェンド」。昭和48年に生まれたこのサークルは現在21名の会員がおり、毎週は曜日を例会日として練習に励んだ成果がここに実を結んだもの。

*歌声サークル・クレッシェンドは、11月10日、東京で行われた全国青年大会に出場し、全国から28チームが参加した中で、努力賞（第5位の成績）を獲得しました。

*昭和53年12月号の「広報ところ」は、この快挙をサークル代表のレポートを添え、紙面の半分以上を使って紹介しているので、最後のページに付けました。

▶今回は、北海道青年大会に向けての練習、全国大会出場記念発表会、文化祭出場の写真で合唱サークル・クレッシェンドの活動・活躍をお伝えします。

北海道青年祭に向けた練習風景：中央公民館



昭和53年11月の常呂町文化祭：中央公民館



11月に行われた全国青年大会出場記念発表会：中央公民館





この発表会では、演劇サークルも友情出演し、会場を盛り上げました

